

『血糖変動をより正確に把握して治療・指導にいかす —SMBGの新しい活用からCGMの利用まで— 』

SMBGは広く行われているが、漫然と測定している場合も少なくない。インスリン非使用者を含めてSMBGで生活や薬物治療を把握しフィードバックする方法を提案する。さらに、CGMの経験からSMBGの価値を再評価する。



第53回日本糖尿病学会年次学術集会
ランチョンセミナー41

血糖変動をより正確に把握して 治療・指導にいかす

SMBGの新しい活用からCGMの利用まで

SMBGは広く行われていますが、漫然と測定している場合も少なくありません。本セミナーでは、インスリン非使用者を含めてSMBGで生活や薬物治療を把握しフィードバックする方法を提案します。さらに、CGMの経験からSMBGの価値を再評価します。

日時=平成22年5月29日(土) 12:00~12:50

会場=第4会場 ホテルグランヴィア岡山 3Fパール

座長=田中 逸 先生 (聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科 教授)

演者=渥美 義仁 先生 (東京都済生会中央病院 副院長)

共催=第53回日本糖尿病学会年次学術集会
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

本セミナーは学会ホームページより事前に参加予約が可能です。
多数の方より予約いただいた場合、セミナー当日に申し込みいただけない場合もごさいますのでご了承ください。
第53回日本糖尿病学会年次学術集会ホームページ
<http://www.convention-w.jp/jds53/>